

事故事例

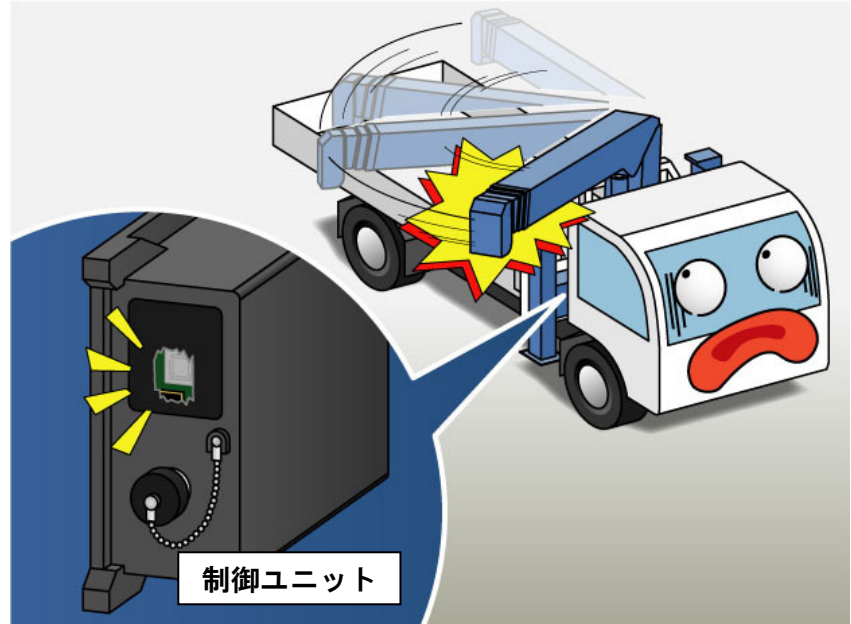
カーゴクレーンの誤作動事故

カーゴクレーン

事故発生状況

アウトリガジャッキレバーを操作したところ、ブームが旋回しキャブと接触した。

点検の結果、制御ユニットのモード表示パネル部が損傷していた。

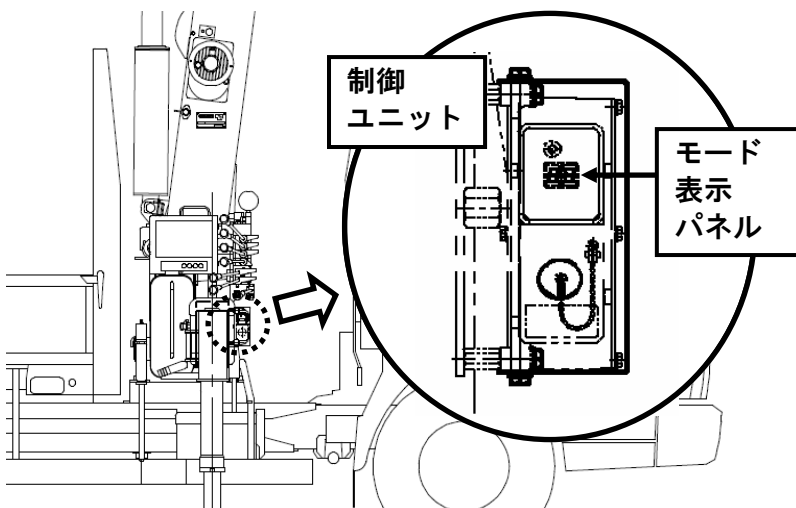


原因

制御ユニット周辺を高圧洗浄した際に、パネル部が損傷して水が浸入した。その状態で使用を続けたため、浸入した水により内部がショートした。

対策

制御ユニットは高圧洗浄をしない



- ・制御ユニットに高圧洗浄を行うと、モード表示パネルが損傷して内部に水が浸入し、製品の誤作動を引き起こすおそれがあります。

- ・日常点検（作業開始前）等で制御ユニットのパネルに損傷が無いか確認してください。

制御ユニットに損傷がある場合は、直ちにタダノ指定サービス工場で点検・修理を受けてください。